

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとそだちの広場 にじいろ昆陽		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 17日 ~ 2025年 12月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日 ~ 2026年 1月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 4日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者さまにも来所していただき、支援の様子を見ながらお話しできる環境を整えている。	支援の中での様子やねらいをお伝えするだけでなく、ご家庭や園などでの様子もお聞きし、支援に活かしていくよう、お話をさせていただいている。	社内外の研修を実施参加し、職員の技量向上に努めている。
2	一人ひとりのお子さまにあった支援内容を職員全体で考えていく。	担当制をとっているが、担当以外の職員もお子さまとの関わりを持つよう意識をしている。 また、職員間でも日々情報交換をし、職員全員が一人ひとりのお子さまのことがよく分かるよう取り組んでいる。	カンファレンスの質を高め、短い時間でも全員が共通認識を持てるようにしていきたい。
3	研修や避難訓練等に関する年間の計画を立て、実施している。	義務化されている研修等を含め、抜け漏れがないように年度単位で計画を立てて実施している。 研修内容にも各自の意見を発表できる場を設け、意見交換がしやすい環境を作っている。	職員の資質向上のため、研修機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部と連携し繋がり(関係機関との連携、協議会や地域の会議への参加)ができていない。	関係機関との連携を図る余裕が持てていなかった。	保護者さまへも園などの関係機関と連携が図れる旨を定期的にお伝えさせていただくようする。 協議会や地域の会議へ参加できるよう日頃から関係機関と交流を図るよう心掛ける。
2	事務作業に時間を要しているため、作業の簡素化やICTによる業務効率化を進める必要がある。	事務作業が煩雑になってしまっているため、ルール化や簡素化が必要。	ICTツールの導入による業務効率化を図る。
3	活動に支障のない十分なスペースはあるものの、運動をするには少し手狭に感じる。	療育室の中央に大きな柱があるため、療育室全体を広々とは使いにくい。	その日の療育内容に合わせて机や椅子、大型遊具を出し入れし、なるべく広くスペースが使えるようにする。 運動をする際は危険のないよう、室内での職員配置や安全に関する配慮を行う。